

HTLV－1 総合対策の概略と現状

HTLV-1 総合対策の骨子

推進体制

国、地方公共団体、医療機関、患者団体等の密接な連携を図り、HTLV-1対策を強力に推進

●厚生労働省：

・HTLV-1対策推進協議会の設置

患者、専門家等が参画し、協議会での議論を踏まえて、総合対策を推進

・省内連携体制の確立と、窓口担当者の明確化

●都道府県： HTLV-1母子感染対策協議会

●研究班： HTLV-1・ATL・HAMに関連する研究班の総括的な班会議

研究班の連携強化、研究の戦略的推進

重点施策

1 感染予防対策

- 全国的な妊婦のHTLV-1抗体検査と、保健指導の実施体制の整備
- 保健所におけるHTLV-1抗体検査と、相談指導の実施体制の整備

2 相談支援(カウンセリング)

- HTLV-1キャリアやATL・HAM患者に対する相談体制の整備
 - ・相談従事者への研修の実施やマニュアル等の配布
- ※相談体制の構築や手引きの作成等において、患者団体等の協力も得ながら実施

3 医療体制の整備

- 検査精度の向上や発症リスクの解明に向け、標準的なHTLV-1ウイルスのPCR検査方法等の研究の推進
- ATL治療に係る医療連携体制等の整備、地域の中核的医療機関を中心としたHAMの診療体制に関する情報提供
- ATL及びHAMの治療法の開発・研究の推進、診療ガイドラインの策定・普及

4 普及啓発・情報提供

- 厚労省のホームページの充実等、国民への正しい知識の普及
- 母子感染予防のため、ポスター、母子健康手帳に挟むリーフレット等を配布
- 医療従事者や相談担当者に対して、研修等を通じて正しい知識を普及

5 研究開発の推進

- 実態把握、病態解明、診断・治療等の研究を総合的・戦略的に推進
- HTLV-1関連疾患研究領域を設け、研究費を大幅に拡充

1. 感染予防対策

- 全国的な妊婦のHTLV－1抗体検査と、保健指導の実施体制の整備
- 保健所におけるHTLV－1抗体検査と、相談指導の実施体制の整備

妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の実施状況

○各自治体におけるHTLV-1抗体検査の実施状況

◆「妊婦健康診査の実施について」平成22年10月6日雇児母発1006第1号雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知により、妊婦健康診査の医学的検査の標準的な検査項目として『HTLV-1抗体検査』を追加し、公費負担の対象となったことを各自治体へ周知。

◆受診券方式（検査項目明示）で実施している 1, 4 7 6 市区町村全てにおいて HTLV-1抗体検査を実施。（平成26年4月1日現在における妊婦健康診査の公費負担の状況にかかる調査より集計）

- ※1 補助券方式（検査項目明示なし）で実施している265市町村については、集計対象外とした。
- ※2 受診券方式と補助券方式
- ・受診券方式とは、毎回の健診項目が示されている券を、妊婦が医療機関に持参して健診を受けるもの。
 - ・補助券方式とは、補助額が記載された券を、妊婦が医療機関に持参して健診を受けるものであり、毎回の検査項目は医療機関の判断による。

HTLV-1母子感染対策事業の各都道府県における取組状況

(平成27年4月1日現在)

○HTLV-1母子感染対策協議会の設置

◆協議会設置状況

○設置済（既存事業で対応を含む）→ 39【37】 ○未設置 → 8【10】

◆協議会での検討事項

○抗体検査の実施状況の把握 ○キャリア妊婦への支援・連携体制 ○相談窓口・研修・普及啓発等

○HTLV-1母子感染関係者研修事業の状況

◆研修実施状況

○医療従事者：実施済 → 35【33】 未実施 → 12【14】

○相談窓口従事者：実施済 → 34 未実施 → 13

◆主な研修内容

○HTLV-1抗体検査についての基礎知識 ○母子感染に係る保健指導等に関する研修

○母子感染予防に関する研修 ○母親への相談対応に関する研修 等

○HTLV-1母子感染普及啓発の状況

◆普及啓発実施状況

○実施済（既存事業で実施を含む）→ 38【36】 ○未実施 → 9【11】

◆普及啓発方法

○リーフレット・ポスターの作成 ○ホームページや広報誌に掲載 ○母親学級のテキストに記載

○妊娠届出時にHTLV-1検査に関する説明の実施 等

*【 】内の数字はH26.4.1現在の数字

HTLV-1 母子感染対策事業の各都道府県の実施状況

平成27年4月1日現在

都道府県	母子感染対策協議会の設置	研修		普及啓発
		医療従事者	相談窓口従事者	
北海道	○	○(H26)	○(H26)	○
青森県	△	○(H24)	○(H24)	○
岩手県	○	○(H26)	○(H26)	○
宮城県	×	○(H26)	○(H26)	○
秋田県	△	○(H26)	○(H26)	○
山形県	○	○(H24)	○(H24)	○
福島県	○	○(H26)	○(H26)	○
茨城県	○	○(H25)	○(H25)	○
栃木県	△	○(H23)	○(H23)	○
群馬県	×→△	○(H26)	○(H26)	○
埼玉県	○	○(H24)	×	○
千葉県	×	×	○(H23)	○
東京都	×	○(H26)	○(H26)	○
神奈川県	△	○(H26)	○(H26)	○
新潟県	○	○(H26)	×	○
富山県	△→○	○(H26)	○(H26)	○
石川県	△	○(H26)	○(H26)	○
福井県	○	○(H26)	×	×
山梨県	○	○(H26)	○(H26)	○
長野県	×	×	×	×
岐阜県	×→△	×	×	○
静岡県	×	×	×	×
愛知県	○	○(H26)	○(H26)	○

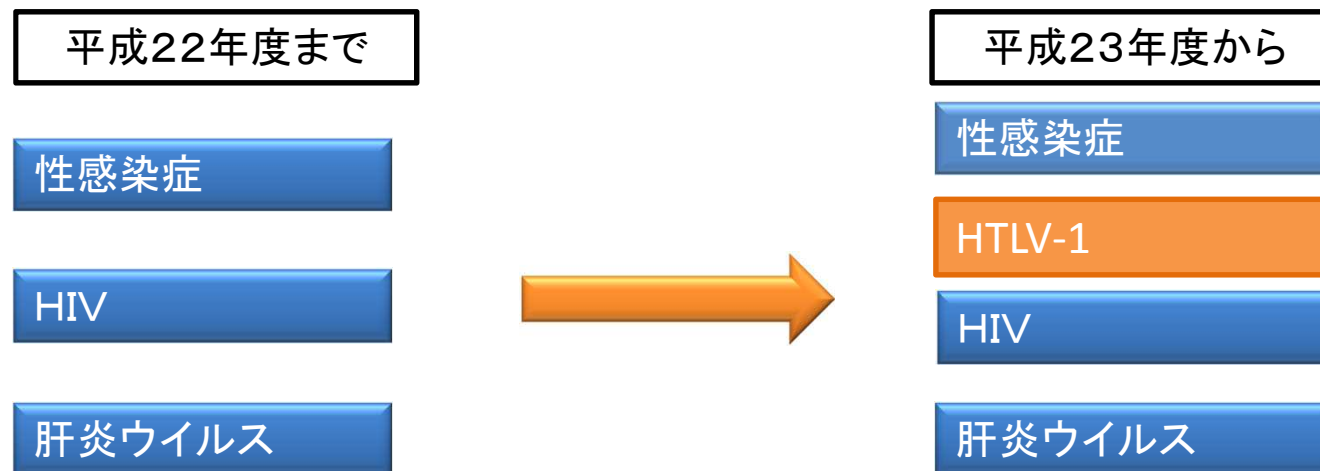
都道府県	母子感染対策協議会の設置	研修		普及啓発
		医療従事者	相談窓口従事者	
三重県	○	○(H26)	○(H26)	○
滋賀県	○	×	×	×
京都府	×	×	×	○
大阪府	○	×	○(H26)	○
兵庫県	△	○(H24)	○(H24)	×
奈良県	○	○(H25)	○(H26)	○
和歌山県	×	○(H23)	○(H23)	○
鳥取県	△	×	×	×
島根県	△	×	×	×
岡山県	○	○(H23)	○(H23)	○
広島県	○	×	×	○
山口県	○	○(H26)	○(H26)	○
徳島県	△	○(H26)	○(H26)	○
香川県	○	×	×	○
愛媛県	×	○(H25)	○(H25)	×
高知県	○	○(H23)	○(H23)	×
福岡県	○	○(H26)	○(H26)	○
佐賀県	○	○(H26)	○(H26)	○
長崎県	○	○(H26)	○(H26)	○
熊本県	○	○(H26)	○(H26)	○
大分県	○	×	×	○
宮崎県	○	○(H26)	○(H26)	○
鹿児島県	○	○(H26)	○(H26)	○
沖縄県	○	○(H23)	○(H23)	○

設置済または実施済：○(直近開催年度) 既存事業で対応：△ 未設置または未実施：× 前年度より取組状況改善

保健所におけるHTLV-1抗体検査及び相談事業

○特定感染症検査等事業(対象自治体数:141)

◆平成23年度から、特定感染症検査等事業において、HTLV-1に関する検査及び相談事業を国庫補助の対象項目として追加した。



検査・相談実績

単位: 件

	検査件数	相談件数(延べ)	HAM相談(内数)	ATL相談(内数)
平成26年度	170	443	38	103
平成25年度	202	514	65	91
平成24年度	153	506	52	89

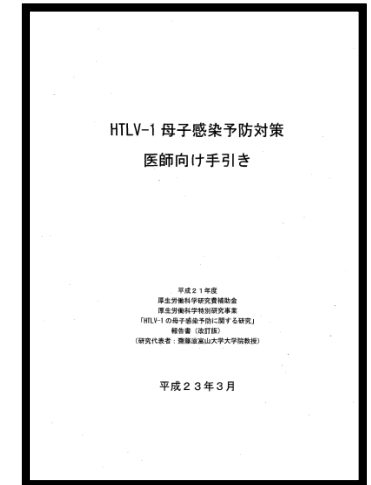
2. 相談支援（カウンセリング）

○HTLV-1キャリアやATL・HAM患者に対する相談体制
の整備

相談の手引き・マニュアル等の作成

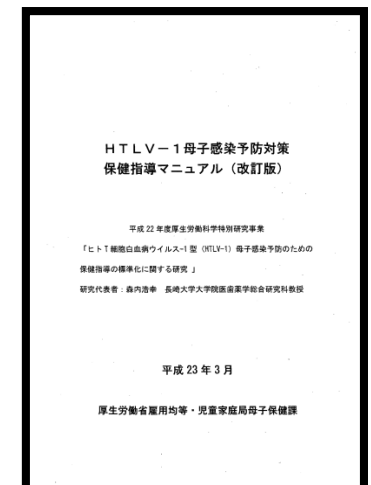
○HTLV-1母子感染予防対策医師向け手引き

- ◆平成21年度厚生労働科学特別研究「HTLV-1の母子感染予防に関する研究」（研究代表者：齋藤 滋 富山大学大学院教授）報告書を元に作成
- ◆趣旨：HTLV-1による母子感染を予防するための診療上の留意点などを医師に対し周知する手引き
- ◆主な内容：妊婦に対するHTLV-1スクリーニングの進め方、HTLV-1キャリア妊婦に対する結果の説明、HTLV-1キャリア妊婦指導のための手引き、キャリア妊婦、キャリア母親への配慮、秘密保持 等
- ◆配布先：各都道府県、政令市、特別区、保健所の母子保健主管課（25,266部） 産婦人科医療機関 ※厚生労働省HPに掲載
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken16/dl/04.pdf>



○HTLV-1母子感染予防対策保健指導マニュアル(改訂版)

- ◆平成22年度厚生労働科学特別研究「ヒトT細胞白血病ウイルス-1型（HTLV-1）母子感染予防のための保健指導の標準化に関する研究」（研究代表者：森内浩幸 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授）にて作成（平成6年度のマニュアルの改訂版として位置付け）
- ◆趣旨：HTLV-1母子感染予防に携わる母子保健医療従事者が保健指導を行う時のマニュアル
- ◆主な内容：HTLV-1感染症の基礎知識、HTLV-1キャリア妊産婦の管理、栄養方法の選択、新生児の管理、乳幼児期の管理、HTLV-1のQ&A 等
- ◆配布先：各都道府県、市区町村、保健所の母子保健主管課（11,600部） ※厚生労働省HPに掲載
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken16/dl/05.pdf>



相談窓口について

○全国の相談窓口の公表

◆相談支援体制の整備のために各都道府県の一般、ATL、HAM、母子感染向け相談窓口をとりまとめ公開した。(平成23年4月28日)

○相談窓口登録数: 1, 430カ所(平成27年9月現在)

受付相談内容別の登録窓口数

一般 (キャリア含む)	ATL	HAM	母子感染
606(577)	521(496)	196(187)	611(621)

* ()内の数字は、H26.8.1現在の数字

◆主な相談窓口

保健所、保健センター(一般、母子感染)

各都道府県の難病相談・支援センター(HAM)

がん相談支援センター(ATL)※、医療機関

※ ATLに関する医療相談について、がん診療連携拠点病院の相談支援センターの業務に追加する旨通知(平成23年3月29日)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou29/index.html>

The screenshot shows a web browser window displaying a table of consultation windows. The table lists various municipalities and their corresponding consultation services. The table has columns for the name of the consultation window, the location, the telephone number, the fax number, and the email address. The table is organized into rows for different municipalities, including Hachioji City, Sagami City, and others. The table is titled '相談窓口の公表' (Disclosure of Consultation Windows).

相談窓口の名称	住所	TEL	FAX	メール
八王子市保健所保健相談支援センター	八王子市南町13-18	042-645-5111		
千代田区保健所保健相談支援センター	千代田区九段北1-2-14	03-5211-6175		
中央区保健所保健相談支援センター	中央区明石町12-1	03-2541-5930		
中央区保健所保健相談支援センター	中央区日本橋本町1-1-1	03-3661-5071		
中央区保健所保健相談支援センター	中央区月島2-10-3	03-5560-0765		

3. 医療体制の整備

- 検査精度の向上や発症リスクの解明に向け、標準的なHTLV-1ウイルスのPCR検査方法等の研究の推進
- ATL治療に係る医療連携体制等の整備、地域の中核的医療機関を中心としたHAMの診療体制に関する情報提供
- ATL及びHAMの治療法の開発・研究の推進、診療ガイドラインの策定・普及

医療体制の整備について

○精度の高い検査方法の開発

「HTLV-1感染症の診断法の標準化と発症リスクの解明に関する研究班」を設置しHTLV-1核酸検査法の開発および標準化を行い、妊婦WB判定保留検体の約20%で核酸検査陽性になり、核酸検査の追加実施の有用性が示された。既に、熊本大学付属病院へ技術移転を始めるとともに、試薬メーカーへ技術提供し、実用化を推進している。一方、ATL発症リスクの予測となるHTLV-1ウイルス量測定法の標準化を図り、診断法の実用化に向けた研究を進めている。

○診療体制の整備

- ・「HTLV-1情報サービス」において、HTLV-1、HAM、ATLについての相談・診療対応が可能な機関の情報提供。
- ・「HTLV-1情報サービス」において、ATLに関する臨床研究の参加医療機関データベースを整備し、情報提供。

○診療ガイドラインの策定

- ・HAMについては、引き続き、「HAM及びHTLV-1関連希少難治性炎症性疾患の実態調査に基づく診療指針作成と診療基盤の構築をめざした政策研究」研究班において、「HAM診療マニュアル」の改定に向け、調査研究を進めている。
- ・ATLの診療については、日本血液学会造血器腫瘍ガイドライン、皮膚悪性腫瘍診療ガイドラインが策定されている。「ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備」研究班で、診療ガイドラインの解説を作成した。同解説は日本血液学会、日本皮膚科学会の学会誌に掲載され、HTLV-1情報サービス内で情報提供されている。

OHAM診療マニュアル

◆平成24年度厚生労働科学研究補助金 難治性疾患等克服研究事業
「重症度別治療指針作成に資すHAMの新規バイオマーカー同定と病因細胞を標的とする新規治療法の開発に関する研究」
(研究代表者：出雲周二 鹿児島大学大学院教授) 報告書を元に作成

◆趣旨：HAM患者診療に関する知識の集積と情報公開により、HAM患者診療にあたる医師に、実践的に役立つための診療マニュアル

◆主な内容：

第1章 総論

第2章 疾患概念

第3章 HAMの診断

第4章 HAMの治療法

付録：HAM患者のサポート Q&A 等

※現在、改定に向けて、調査研究を継続中



○HTLV-1関連疾患に対応出来る診療機関・臨床研究機関

- ◆ HTLV-1キャリアに対応出来る医療機関
...135医療機関
- ◆ ATL診療が可能な医療機関
...146医療機関
- ◆ 臨床研究参加医療機関数
...ATL135医療機関、HAM4医療機関
- ◆ HAM診療が可能な医療機関
...92医療機関

※平成24年11月時点

※診療科単位で調査している為、医療機関に重複あり

(厚生労働科学研究費補助金(がん政策研究事業)「HTLV-1キャリアとATL患者の実態把握、リスク評価、相談支援体制整備とATL/HTLV-1感染症克服研究事業の適正な運用に資する研究」)

<検索可能な項目>

疾患別検索:

キャリア、ATL、HAM

地域別検索:

47都道府県単位

HTLV-1情報サービス [TOP](#) [サイトマップ](#) [利用規約](#) [関連リンク](#) 小 中 大

臨床試験への参加を募集しています

医療機関検索
HTLV-1キャリア、ATL、HAMに対応している施設の検索

臨床研究情報
ATL、HAMの治癒・臨床試験情報など

医療関係者向け情報
HTLV-1に関するより専門的な情報

HOME > 医療機関検索

+ 医療機関検索

平成24年度厚生労働科学研究費補助金事業として、全国のATL及びHAM患者診療、及びHTLV-1キャリア対応の実態調査を行いました。本ページにはその調査において、HTLV-1キャリアの方の対応、またATLやHAMの患者さんの診療を行うことを本ページに掲載することに承諾頂いた施設を掲載しています。

疾患から検索 (最初にご選択をお願いします)

地域から検索

フリーワード検索

拡大

疾患から検索

地域から検索

フリーワード検索

4. 普及啓発・情報提供

- 厚労省のホームページの充実等、国民への正しい知識の普及
- 母子感染予防のため、ポスター、母子健康手帳に挟むリーフレット等を配布
- 医療従事者や相談担当者に対して、研修等を通じて正しい知識を普及

厚生労働省ホームページについて

○ HTLV-1 ポータルサイト

◆「HTLV-1総合対策」の一つとして厚生労働省ホームページにポータルサイトを作成し様々な情報にアクセスできるように作成した。

◆ターゲット別、メニュー別に情報が検索できるようにし、欲しい情報にアクセスしやすくしている。

○ターゲット:妊婦の方へ、キャリアの方・ご家族の方へ

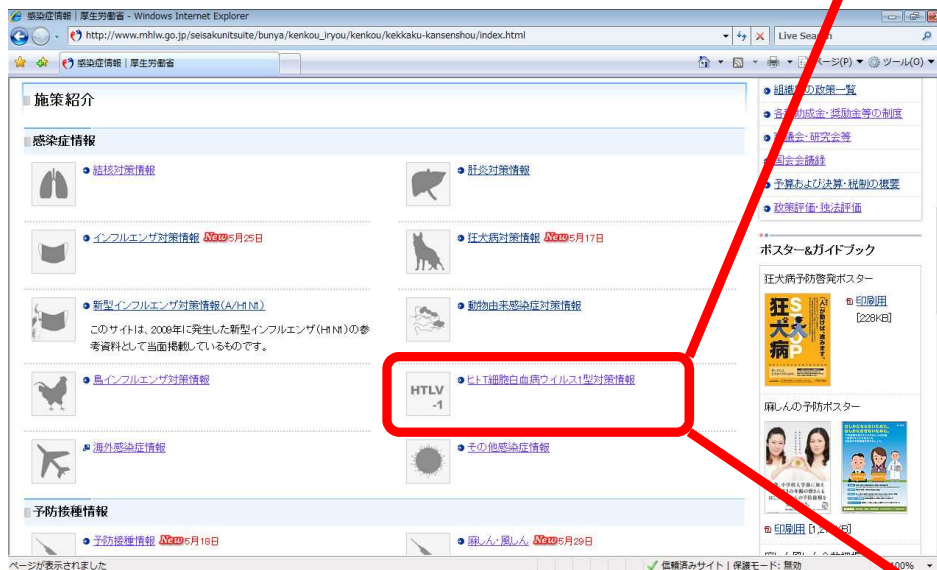
医療関係者・支援に携わる方へ、自治体の方へ

○メニュー:相談・医療機関検索、よくわかるHTLV-1

マニュアル・手引き

関係通知、リンク

等



<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou29/index.html>

(平成23年1月設置、4月拡充 厚生労働省ホームページに設置)

厚生労働科学研究班における情報提供

○ HTLV-1 情報サービス

◆運営:

厚生労働科学研究費補助金(がん政策研究事業)

「HTLV-1キャリアとATL患者の実態把握、リスク評価、相談支援体制整備とATL/HTLV-1感染症克服研究事業の適正な運用に資する研究」

研究代表者:内丸薫(東京大学)

(平成26年度以降)

◆趣旨:

最新のHTLV-1に関連する専門的な情報を一元的に発信するとともに、患者・患者家族等が参考となる医療機関情報、臨床研究情報についても掲載し、適切な医療機関に円滑に結びつけることを目的とする。

◆主な内容:

- ・HTLV-1関連疾患の説明
- ・検査等の説明、用語解説
- ・医療機関情報
- ・臨床研究情報 等



(平成23年3月31日公開)

<http://htlv1joho.org/index.html>

5. 研究開発の推進

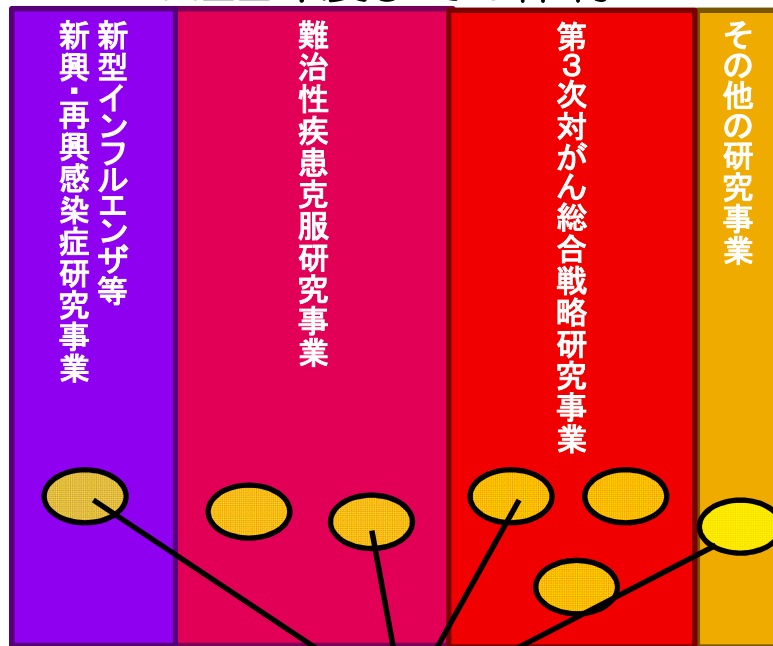
○実態把握、病態解明、診断・治療等の研究を総合的・戦略的に推進

○HTLV-1関連疾患領域を設け、研究費を大幅に拡充

平成27年度厚生労働科学研究費補助金について (HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）関連疾患研究領域）

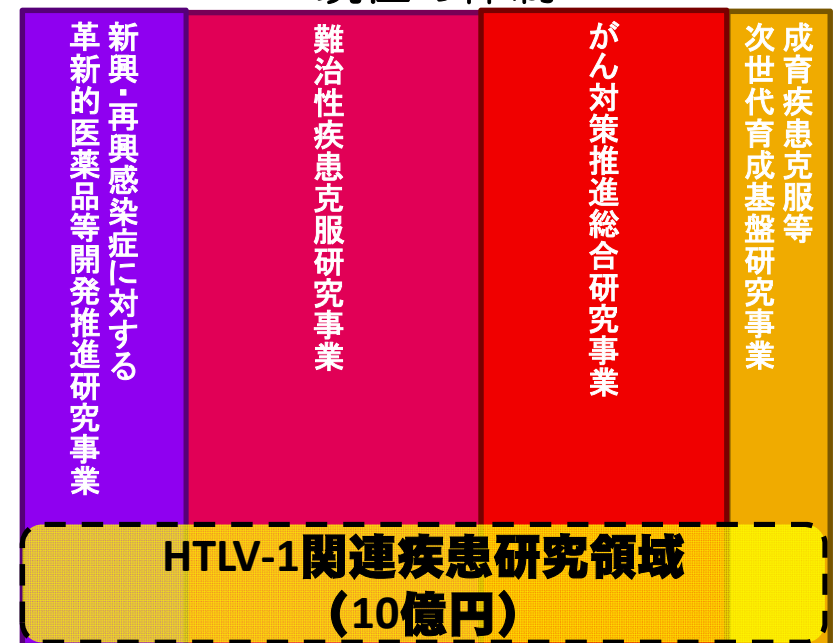
- ◆ HTLV-1関連疾患に対して戦略的に研究を行い、総合的な対策に寄与するため、疫学的な実態把握、病態解明、発症の予防、新規医薬品の開発、診断・治療法の開発・確立等にわたる研究を行うため、HTLV-1関連疾患研究領域を設置。

H22年度までの体制



各研究事業の中で採択された場合に
HTLV-1関連の研究を実施

現在の体制



研究課題の採択状況（平成27年9月現在）

所管	研究事業	研究課題	研究代表	交付額 (千円)	期間
厚生労働省	がん対策推進総合研究 (がん政策研究)	HTLV-1キャリアとATL患者の実態把握、リスク評価、相談支援体制整備とATL/HTLV-1感染症克服研究事業の適正な運用に資する研究	内丸 薫	16,888	平成26～28年度
AMED	がん対策推進総合研究 (革新的がん医療実用化研究)	成人T細胞白血病の治癒を目指した病因ウイルス特異抗原を標的とする新規複合的ワクチン療法:抗CCR4抗体を併用した樹状細胞療法 第I/II相試験	末廣 陽子	204,831	平成25～27年度
		全例登録を基盤とした臨床情報と遺伝子情報の融合によるATLL予後予測モデル、発症前診断の開発と、ATLLクローン進化機序の解明	下田 和哉	23,732	平成26～28年度
		ATLの分子病態に基づく治療層別化のためのマーカー開発と分子標的の同定、および革新的マウス急性型ATL実験モデルを用いた臨床応用への展開	瀬戸 加大	22,653	平成26～28年度
		同種移植後再発の成人T細胞白血病リンパ腫に対する次世代型レトロウイルスベクターによるT細胞レセプター遺伝子導入ドナーリンパ球輸注療法	池田 裕明	58,250	平成26～27年度
		成人T細胞性白血病/リンパ腫(ATLL)に対するNY-ESO-1+AS15ASCIのモガムリズマブ併用での安全性と有効性探索のための医師主導治験(第I/II相)	金倉 譲	153,576	平成26～28年度
		成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対する新規治療を開発する医師主導治験	石塚 賢治	40,261	平成26～28年度
		臨床試験、発症ハイリスクコホート、ゲノム解析を統合したアプローチによるATL標準治療法の開発	塚崎 邦弘	83,163	平成26～28年度
		成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立およびゲノム解析に基づく治療法の最適化に関する研究	福田 隆浩	79,966	平成26～28年度

研究課題の採択状況（平成27年9月現在）

所管	研究事業	研究課題	研究代表	交付額 (千円)	期間
厚生労働省	難治性疾患政策研究事業	HAM及びHTLV-1関連希少難治性炎症性疾患の実態調査に基づく診療指針作成と診療基盤の構築をめざした政策研究	出雲 周二	16,397	平成26～27年度
AMED	難治性疾患実用化研究事業	希少難治性脳・脊髄疾患の歩行障害に対する生体電位駆動型下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)を用いた新たな治療実用化のための多施設共同医師主導治験の実施研究	中島 孝	217,616	平成27～29年度
		HAMIに対する日本発の革新的治療となる抗CCR4抗体の実用化研究	山野 嘉久	165,116	平成27～29年度
		HAMIに対する革新的な医薬品の開発促進に関する研究	山野 嘉久	40,000	平成26～28年度
		HTLV-1陽性難治性疾患の診療の質を高めるためのエビデンス構築	岡山 昭彦	28,405	平成26～28年度
		集約的オミックス解析による難病の原因究明と疾患別遺伝子診断ネットワークの構築	松田 文彦	150,000	平成26～28年度

研究課題の採択状況（平成27年9月現在）

所管	研究事業	研究課題	研究代表	交付額 (千円)	期間
AMED	新興・再興感染症に対する 革新的医薬品等開発推進 研究事業	HTLV-1疫学研究及び検査法の標準化に関する研究	浜口 功	55,000	平成26～28年度
		HTLV-1感染症予防ワクチンの開発に関する研究	長谷川 秀樹	35,000	平成26～28年度
		HTLV-1感染疾患機序における自然免疫の 役割解明と疾患リスク予知への応用	神奈木 真理	35,000	平成26～28年度
		臨床応用を目指した抗HTLV-1ヒト免疫グロブ リンによるHTLV-1感染予防法の開発と安全 性に関する研究	水上 拓郎	10,000	平成27～29年度

研究課題の採択状況（平成27年9月現在）

所管	研究事業	研究課題	研究代表	交付額 (千円)	期間
厚生労働省	成育疾患克服等次世代育成基盤研究	HTLV-1母子感染予防に関する研究:HTLV-1抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究	板橋 家頭夫	15,000	平成26～28年度